

# 月刊 グラフィックサービス

## No.886 2025 9

TRANSCRIPTION  
近森 膳 写 堂

1953  
COMPANY

有限会社近森膳写堂  
近森 富光 さん  
(妻)

有限会社近森膳写堂  
代表取締役  
近森 純一郎 さん

有限会社近森膳写堂  
近森 恵美 さん  
(母)

■ 巻頭企画 9月印刷の月特集  
膳写印刷からグラフィックサービスへ  
ガリ版がつなぐ「香川膳写列伝」

### ■ 巻頭言

ジャグラってさー。うーん。

——千葉県支部長／(株)さくら印刷 鎌田 俊郎

### ■ 連載

SPACE-21 広報部

九地協セミナー・鹿児島県支部暑気払い  
サスティナ酒場

### ■ 特別企画

印刷屋さんのお仕事展3を無事終了

### ■ NEWSとお知らせ

ジャグラ DX事業についてのお知らせ

印刷不良のご報告

第61年度・第2回理事会 議事録

ジャグラ緊急連絡網

一般社団法人

日本グラフィックサービス工業会



UD  
FONT  
by MORISAWA

TOYO INK  
noi VOC

## CONTENTS

### ■ 巻頭言

- 1 **ジャグラってさー。うーん。**  
千葉県支部長／(株)さくら印刷 鎌田 俊郎

### ■ 巻頭企画

- 9月 印刷の月 特集
- 2 **謄写印刷からグラフィックサービスへ  
ガリ版がつなぐ「香川謄写列伝」**

### ■ 特別企画

- 26 **印刷屋さんのお仕事展3を無事終了**

### ■ 連載・シリーズ

- SPACE-21 広報部
- 6 **九地協セミナー・鹿児島県支部暑気払い**
- 24 **サスティナ酒場**

### ■ NEWSとお知らせ

- 8 **ジャグラDX事業についてのお知らせ**
- 11 **印刷不良のご報告**
- 20 **第61年度・第2回理事会 議事録**
- 28 **ジャグラ緊急連絡網**

### ■ NEWSとお知らせ

- 7 ジャグラBBホットニュース
- 22 **業界の動き**  
ジャグラ  
宮城・神奈川・栃木 総会開催  
コンテスト委員会 セミナーアーカイブ配信  
著作権管理のためのご案内を制作  
王子製紙 印刷・情報用紙を値上げ  
全国中小企業団体中央会 ものづくり補助金公募開始
- 19 雑学コラム③
- 29 事務局日誌と今後の予定

- 11 JaGra グループ保険
- 12 学校法人日本プリンティングアカデミー後援会
- 13 富士フイルムグラフィックソリューションズ(株)
- 14 (株)ショーワ
- 15 ホリゾン・ジャパン(株)
- 16 (株)モリサワ
- 17 (株)モトヤ
- 18 東京リスマチック(株)
- 19 (株)研美社
- 表4 リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)

## 月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様に、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

#### 【概 要】

|       |                                    |      |                      |
|-------|------------------------------------|------|----------------------|
| 発行回数  | 月1回 / 年間12回                        | 配布方法 | ・全会員へ直接郵送            |
| 購 読 料 | ジャグラ会員は無償（会費に含む）<br>・希望企業、団体への有償配布 |      | ・ジャグラホームページからのダウンロード |

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール [edit@jagra.or.jp](mailto:edit@jagra.or.jp) 電話 **03-3667-2271** ファクス **03-3661-9006**

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

# ジャグラってさー。うーん。

千葉県支部長／(株)さくら印刷

鎌田 俊郎



もうすぐ70になります。地元の色々な役が終わり、または自ら辞めて、まだ後一つ残ってはいますが、大変身軽になって良かったなーと感じていました。これからはじっくりと仕事にしても遊びにしても少しは自分中心でやれると喜んでいました。

ええっ！？ いつも自分中心ではなかったのと女房や仲間から言われそうですが。そんな気持ちでいましたので、去年支部長となってしまう正直な気持ちは、やりたくないなーと強く思いました。それまでも積極的にジャグラに関わっていませんでしたし、思い入れも少なく、事業者団体の意味はどこにあるのかなと感じていました。機関誌の就任挨拶文にも「千葉県支部をこうしていくという方針もありませんので、今までのものを踏襲していきますのでよろしくをお願いします」という文を載せました。思い入れがないのでこんな文章になってしまいます。

そんな中、ジャグラ関連の新聞・冊子で岡本会長の文章を読んだり、又、直にお話を聞いたりしますと、この方は本気で業界のことを考え、会員に良くなってもらいたいという熱い気持ちがある方なのだと思います。千葉を訪問して下さった時に飲みながらお話をしましたが、その業界・ジャグラ会員を思う気持ちはどこから来るのかと伺いましたが、素晴らしいお答えでした。詳細はご本人に聞いて下さいませ。昔、あんまり人を褒めるやつには注意しろと友人に言われましたので私も褒めるのはこの辺にしておきます。

その時に感じたのは、ジャグラは全国組織ですから様々な方とお会いすることができるし刺激ももらい有意義な時間が持てるのだらうということです。先日、神奈川県支部60周年懇親会に出席しました。懇親会が終わり2次会の会場に行く道すがら株式会社野毛印刷社の金子さんといっしょに歩いて行く機会がありました。金子さんの60周年の御挨拶で89歳とおっしゃっていましたが、そのご壮健さに驚きました。歩きながらおしゃべりをして行きました。15分位の間でしたけど、ギュッと凝縮したお話を聴くことができました。私の質問、ジャグラについてお聞きしますと間髪入れずに明快なお話をされ敬服いたしました。ストーンと腑に落ちた感じでした。

要はジャグラに入ったら四の五の言わずにいろんなとこに出ること、そうすれば目を開かせてくれることもあるということです。私は半分抜けていますので、これは若い皆さんのことです。初めにジャグラの意味はどこにあるのかと書きましたが、このお二人にお会いしてその一端はわかった気がしました。ありがとうございました。

これで書きたいことは終わりましたけど1800字に届かないので冒頭に遊びも自分なりにやりたいと書きました。どうでもいいことですが書き連ねてみます。柔道の試合をテレビで見ているとまたやってみたい。10年前家の隣に道場を建てたいと思い工務店に見積もりを取ったが予算がない、高校の先生に柔道の練習は何時からと聞いたきり行ったことはない。壊れないように体を作ってからにしよう。いつになることか。サーフィンは50で始めた。人に教わったことがなく勝手にやっているのどうまくななし、若い人によくおこられる。うねりから横に滑っていくぞ。へたな私の姿に同情する方もいるようで、海の上にいると、たまにレジェンドらしき人からこうやったらどうだとか、真冬にそのウェットスーツは寒いだろうとかアドバイスをもらうことがある。怒られるばかりではない。ギターはいつもそばにあるけど、まだまだだ。弾けるとは言い難い。けど自分なりに楽しんでいる。ドラムは今となってはボケ防止に非常に良いと思い、続けている。絵も描きたい。色鉛筆・絵の具・クレヨンを買うが描いていない。この間、東京の文房具屋でガラスペンを買ったが描いていない。点数計算もおぼつかなくせに、若い時のように痺れるような麻雀もたまには打ちたい。本も読むけど字の小ささに及び腰になっている。酒は弱いが酒の席は好きだ。年1回のペースで襲ってくる痛風発作に耐えながら楽しんで飲んでいたい。ゴルフは年2回か3回。高校同窓コンペのみ。止まっている球を打っても面白くないと思っていた。しかし最近、食指が動いてきた。クラブでも買おうか。やりたいことがたくさんありますが、ゆっくりマイペースでやっていきたいと思います。今書いた文章を読み返してみると遊びの文は余分だったみたいですけど、あしからず。



# 謄写印刷からグラフィックサービスへ ガリ版がつなぐ 「香川謄写列伝」



昭和5年に刊行された  
美術謄写の奨め



美術謄写の奨め

今月は9月印刷の月です。この期間は元々、活版印刷の祖と言われる本木昌造翁の命日が9月3日であることから、全日本印刷工業組合連合会が中心となって毎年9月1日から7日までを「印刷週間」と定めて、印刷産業の普及啓もう活動を推進してきたのが始まりです。

1985年に日本印刷産業連合会が設立されると、翌年に9月を「印刷月間」として、印刷関連団体、企業と共に「一般社会の印刷産業への認識を深め、理解の促進を図ることを目的に」内外へと周知・PR活動を行ってきました。2000年に印刷月間から今の「9月 印刷の月」へと名称を改め、毎年記念行事として日印産連が主催した式典、懇親会等が開催されています。

ここまでが「9月 印刷の月」のご説明となりますが、ご承知の通り、ジャグラのルーツは活版ではなく「謄写版」です。そこで本稿では、「9月 印刷の月」に関連付けましてガリ版とジャグラの歴史について少し触れてみます。

今年5月の毎日新聞に「132年振りに万博でガリ版復活」の見出しをお読みになった方はいらっしゃるでしょうか。

日本におけるガリ版印刷は、堀井新治郎父子が1894年に謄写版一号機を発表したのが始まりで、昨年130周年を迎えました。（GS2024年9月号参照）謄写技術はもともと、かの発明王トーマス・エジソンが生み出し（ミメオグラフ）、1893年にアメリカのシカゴで開催されたシカゴ万博で発表されました。その会場を訪れた堀井新治郎氏が日本に持ち帰り、その理論のもと独自の謄写版を開発しました。

シカゴ万博でガリ版が発表されて132年。今年4月から大阪・夢洲で開催中の「EXPO2025 大阪・関西万博」の関西パビリオンでは6月に、滋賀県東近江市と蒲生地区まちづくり協議会が共同でガリ版文化を伝えるブースを出展しました。

その時の記事を印刷タイムス様よりご提供いただきましたのでご一読ください。（後述）

謄写印刷の技術については、ジャグラBBで配信してます映画『謄写印刷の技術』（昭和34年製作）をご覧ください。ロウ原紙やヤスリの製造からガリ切、印刷まで謄写印刷の技術だけでなく、道具がどのように作られたのか、当時の職人の高い技術力を見ることができます。

最近では、個人や有志のグループが自由なテーマ、表現方法でまとめた小冊子「ZINE」の世界で、孔版印刷（リソグラフ）が脚光を浴びていますが、私見で申し上げますと、ガリ版は印刷製造とアートの2つの面を持っていることが非常に特徴的かと思います。

アートの面では、1919年頃から謄写印刷による同人誌発行が盛んになり、写真を再現するような立体製版を生み出し、多色刷りによる創作版画の世界を切り拓く人たちが登場し始めました。

その草分けとして孔聖、謄写印刷の神様と呼ばれた草間京平氏（1902～1971年）は大正、昭和期に活躍した孔版画家ですが、この方が謄写印刷を美術印刷として芸術的な領域まで高めました。ジャグラの周年誌にもその名が頻出する若山八十氏氏（1903～1983年）も同時期に活躍した孔版画家として忘れてはなりません。著名な孔版画家の貴重な作品の一部は、ジャグラ本部にも保管されておりますので、ご覧になりたい方はお問い合わせください。山形謄写印刷資料館館長でもあるジャグラの後藤副会長（山形県支部）が「私でもどうやって刷ったのか分からない！」と言われる精巧なガリ版作品を見ていただくことができます。

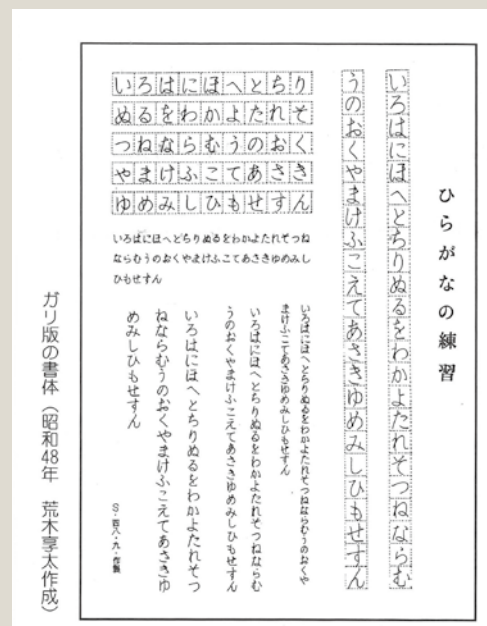
さて、アートの領域でガリ版印刷が花開く一方、着々とジャグラの原型となる謄写印刷団体が各地で形成されはじめました。

その一つの流れとして、2000年に発行されたジャグラ四国地方協議会会報誌に香川県支部・荒木克法様（㈱荒木プリント社）が寄稿した「香川謄写列伝」から見ていきたいと思います。情報をご提供いただきました荒木様に心より感謝申し上げます。

荒木さん曰く、「香川の謄写印刷、香川県支部の発祥は多田忠治さんだ」。



多田忠治氏  
（香川謄写列伝より）



ガリ版の書体  
（香川謄写列伝より）





荒木亨太作  
『お茶室めぐり』冊子表紙

※広報委員会ではジャグラにまつわる様々な思い出話、歴史の情報提供を受け付けております。次世代に伝えたい、遺したいコトがございましたら、edit@jagra.or.jp までお寄せください。

多田謄写堂は現代表の多田史郎さんのお父様である多田忠治さんが、1934 年（昭和 9 年）4 月に創業しました。小学校の校長を務めていた忠治さんは教員を退職すると、ガリ版の材料販売と印刷を手掛けるガリ版屋として事業をスタートさせました。

荒木プリント社の荒木克法会長のお父様、享太さんは戦前、大阪で材木商に勤めていましたが戦後復員すると大阪を離れ、材木商になるべく高松に移り住みました。しかし、商習慣の違いで材木商を断念し、何か代わりとなる仕事をと、絵や文字を書くことが得意であったことから 1948 年 2 月に多田謄写堂の門戸を叩き、ガリ版を習いながら、ガリ版屋として実地勉強を兼ねて多田謄写堂の下請けを始めました。そんな下請け職人仲間には、アート印刷の十河由一氏やのちに万成社に入社した方、今は廃業されたり、脱退されましたが一時香川県支部会員であった方々が居たと言うことですから、香川の謄写印刷業のルーツは多田謄写堂さんという話もうなずけます。

一方で、1949 年に辻庄太郎氏は株式会社万成社として、ガリ版屋を初めて会社組織として創業しました。大手企業を得意先とし、多数の筆耕を雇って組織化していったそうです。また、1963 年に高松市教育委員会に公務員として勤務していた池上任氏は、退職してガリ版グループをまとめ、株式会社美巧社を立ち上げるなど、組織化を進めていきました。

1950 年頃からガリ版技術の急速な発展もあり、多田謄写堂の流れを受けて市民講座にもガリ版教室が開設されると、当時のメンバーが講師を務め、特に林格次氏、藤井義男氏、荒木享太氏の 3 名が香川県のガリ版書体を形成していきました。

ジャグラ四国地協の成り立ちは 1959 年に遡ります。同年 6 月、高松市に四国 4 県の謄写印刷業者が集まり、日謄連四国地方協議会を構成し、同時に 4 県支部が立ち上がりました。このことは 2008 年 7 月に徳島県支部が発行した「日謄連発足 50 年のあゆみ」の中にも『1957 年（S32）秋、有限会社大気堂の社長が「香川の同業者より電話が入り、高松市内もまとめにかかっている。徳島も集めてくれないか」との連絡に接し、急いで県下のガリ版屋さんを調べる』と記されています。

こうして四国地協の成り立ちを見てみると、やはり諸先輩の多くが戦後復興の中で、自らの腕を頼りに鉄筆一本で家業を起こし、高度経済成長の真ただ中であって、急激な経済発展と国民生活の向上を肌で感じながら成長し、手書きの謄写版からタイプライターの導入、写植、PTO（フォト・タイプ・オフセット）で軽印刷へと変貌を遂げ、和文タイプや電算写植、ワープロ、くみはん 30 など、最新技術やデジタル技術を取り入れて今日にいたります。

温故知新。世代交代が進む今こそ、改めてジャグラの歴史を振り返りながら、謄写印刷業からグラフィックサービス業へと転換してきた、諸先輩の偉業に想いを馳せていただければ幸いです。

## 印刷タイムス提供

# 大阪・関西万博で 132 年振りのガリ版披露

6 月 25 日、来場者数 13 万 5 千人を数えたほど多くの人で賑わったこの日、大阪・関西万博「関西パビリオン」で開催された「ガリ版体験」が大きな注目を集めた。

滋賀県東近江市と蒲生地区まちづくり協議会が連携して出展したこの展示は、明治時代に誕生した謄写版＝ガリ版文化を、現代の来場者に直接「手で感じてもらう」試みで、世代を超えた交流の場を創出。午前中から行列が絶えず、整理券がなくなるほどの盛況ぶりを見せた。

会場では、実際にガリ版で使用するインクを使い、参加者自身がハガキに刷る多色印刷体験が行われた。1 色刷りの簡易版も用意し、できるだけ多くの来場者にガリ版に触れてもらえるよう工夫を凝らした。

若者から高齢者まで、さらには通訳付きで訪れる外国人までが列を作り、昔ながらの印刷体験に目を輝かせていた。

運営に携わったガリ版アーティスト・水口菜津子氏は、ガリ版の魅力を「単なる印刷物としてではなく、アートや懐かしさ、思い出として人の心に残る文化」と示す。

同氏は、地域で脈々と受け継がれてきたガリ版文化の灯を絶やさぬよう活動を続けてきた一人だ。

「万博は見るだけで終わる展示が多い中、来場者は『体験ができる』とここに立ち寄ってくれました。ガリ版体験を通じて楽しんでもらい、記憶として持ち帰ってもらえるのが嬉しかった」と水口氏は語ってくれた。

さらに、「普段は孤独な作業で、誰にも見られずに黙々と作っている。でもこうしてたくさんの人に見てもらえて、実際に体験してもらえることで存在意義が確かになる気がした」と笑顔を見せた。

かつて祖父がガリ版で家業を営んでいたという来場者（明石市在住・大学生）が「父がこのブースを楽しみにし

ていた」と語る場面もあり、世代を超えてつながる文化の力を感じさせた。

「ガリ版発祥の地」である蒲生地区。明治時代、東近江市出身の堀井新治郎氏がアメリカ・シカゴ万博でトーマス・エジソンのミメオグラフ（謄写印刷機）に出会い、帰国後に研究開発を重ね、簡易印刷器・ガリ版として国産化。

その後、教育現場や地域の広報活動などに広く使われ、日本各地に広まった。その堀井氏とエジソンの間に交流があったことを示す手紙も近年発見され話題になった。

さらに、今回の出展は「ガリ版が 132 年ぶりに万博に登場」とのエピソードも来場者の関心を集めた。

展示は東近江市の出展日限定であったが、限られた日数の中で多くの人にガリ版の魅力を知ってもらうことができた。

水口氏は「若い人が『やってみたい』『面白そう』と体験していく様子を見ると、文化の継承に確かな手応えを感じた」と語るとともに、「この灯を絶やさず、次の世代へ手渡していきたい」と決意を新たにしていた。

かつて 1 人の発明家によって生まれ、やがて日本に根付いたガリ版文化。時代とともに姿を消しつつあったガリ版だが、こうして今も「現役」の技術として生き続けている。

その火を絶やさぬようにと動く人々の努力が、大阪・関西万博の大舞台で多くの人々の心に新たな灯を灯した。







去る7月26日(土)、鹿児島市のホテルタイセイアネックスにて、ジャグラ九地協セミナーを開催しました。

内容は、地域活性化委員会 齋藤秀勝委員長による『ジャグラコンパス セーフティマップ』について、参加者は大分県支部、熊本県支部より各2名、外部より6名、計16名での開催となりました。

『ジャグラコンパス セーフティマップ』は、ジャグラ文化典東京大会において先んじて発表されましたが、今回はその内容の理解度と認知度の更なる向上を図るため、1時間の枠で詳細に説明していただきました。

セミナーでは、齋藤委員長から「ジャグラ会員の皆さんはぜひ有効活用していただき、そうでない方はジャグラへの加入を検討して欲しい」との提案がなされました。

セミナー終了後の質疑応答では、「地方においてはこれを商品として販売するより、営業もしくは地域貢献活動のツールとして利用したい」「こういった形で消費者に提案するのか事例があれば知りたい」等、様々な質問や意見が出ました。

また、「マップが不鮮明に思えるが今後改善されるのか」「テンプレート部分は自由に作成・アレンジ可とのことですが、マップ部分を加工しても大丈夫か」といった質問に対しては、「マップに関しては国土地理院の提供であり今後どうなるか未確定なので、現状では解像度を上げて見やすくする等それぞれで工夫してください」との回答をいただきました。

セミナー終了後は県支部恒例の暑気払いでした。

土鹿児島県支部長の挨拶で始まった暑気払いは、歓談中、講師への個別質問はもとより、県内外の参加各社の現状や業界を取り巻く状況、技術的な意見交換等、少しでも役立つ情報を得ようと活発な交歓がなされていました。

そもそも、なぜここで九地協セミナーの報告なのか、その理由は現在の青印会の立ち位置にあります。

青印会は、昭和55年10月に支部の前身である鹿児島県軽印刷協同組合内に発足しました。

当時の会員数はおよそ20名、主な活動は、親組合事業の企画・運営をはじめ、青印会各種福利厚生イベントや研修会の開催、広報誌の発行等がありました。

今年で45年目になる青印会ですが、時代の推移とともに会員企業の脱退や廃業が進み、現在では支部・青印会共に会員5名のうち3名が双方に所属しています。支部活動＝青印会活動となっているのが現状です。

少人数な上に一番の遠隔地である鹿児島県支部ですが、会員一丸となり精力的に活動をしています。

全国協議会鹿児島大会を3度主管、九州大会も1回共催しました。更には今年の2月に全国交流キャラバンも主管しています。

最初の全国協議会は平成16年5月、フェリーをチャーターしての船上開催となりました。自身も加入2年目ながら何とか実行委員長の大役を務め上げることができました。

2度目は平成22年10月、青印会30周年記念事業として尚古集成館館長と西酒造(株)工場長の講演を主軸にしての開催でした。台風13号の影響で交通網が混乱している最中、それでも80人余りの参加をいただきました。

3度目は令和2年11月に種子島にて開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により断念、翌令和3年10月に初のハイブリッドでの開催となりました。

地理的・人数的に困難な状況の青印会ですが、団結力と行動力だけはどこにも負けないと自負しています。それをもって今後も積極的に活動を続けていきます。

ジャグラ九地協セミナー



齋藤秀勝委員長



青印会40周年



全国交流キャラバン



全国協議会鹿児島大会



平成16年5月



平成22年10月



令和3年10月

広報委員会  
が選ぶ!

# おすすめ番組情報

いまずぐチェック!

ジャグラBB | 検索

入稿データのトラブルって  
たくさんあるにや...



カテゴリ> 教育と技術 > DX・総務経理・その他

## 一般ユーザーからの Adobe Express & Canva 入稿 PDF 対処法 -01

近年増加中の Adobe Express・Canva 製 PDF 入稿への対処法を紹介。  
入稿トラブルでお困りの方はぜひご視聴ください。



## study AI 要約って何?

カテゴリ> 教育と技術 > DX・総務経理・その他



## ツール探報シリーズ-2: Adobe Acrobat

今回は、Adobe Acrobat のインターフェース変更や新機能 AI アシスタントについて解説しています。PDF 入稿が増えた昨今、Acrobat の最新環境について確認しておきましょう



## 価格やプランはどう変わる?

NEWS カテゴリ> 教育と技術 > DX・総務経理・その他



## Adobe Creative Cloud の価格およびプランが変更

2025年8月1日から、Adobe Illustrator などを含む Adobe Creative Cloud の価格およびプランが変更されました。Adobe 製品を使用している印刷企業では、ランニングコストへの影響が避けられませんので、ぜひご確認ください。



ジャグラ BB は、ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。  
2006 年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。



# ジャグラ DX 事業についてのお知らせ

各種ツールご利用前にご確認ください

6月に開催されましたジャグラ文化典東京大会にて報告させていただきました通り、生産性向上委員会が提供する「リコークレンジングお手伝いRobo」「リコー 簡易出荷検品システム」、MIS 研究委員会の「リコー バーコード工程記録システム」「コニカミノルタ AccurioPro Dashboard JobManager for PowerBI 連携システム」、地域活性化委員会が提供する「ジャグラコンパス® ーセーフティマップー」が具体的な価格、利用条件等も決まり、会員の皆様にリリースさせていただいております。

そこでこれらのサービスについて、8月号より順次機関誌にて発表させていただいておりますが、改めて利用方法等をお知らせいたします。注意事項もございますので申請前に必ずご確認ください。

## ①各ツールのお問い合わせなどは、下記フォームよりお願いいたします。

各種ツールの提供に伴い、問い合わせフォームを開設しました。これは全てのツール共通となっております。必要事項にチェックを入れて回答いただくと、各ツールやご検討シーンに応じて担当者のご連絡いたします。

全体的なお話をお聞きしたい場合は、一度ジャグラ事務局にご相談ください。委員会としましては、全地協で導入セミナーを実施しておりますが、すでに半数近くの地協が終了しております。再度行うかは未定となっております。



問い合わせ  
フォーム

## ②地元の担当営業や商社様にご相談したい場合

地元でリコージャパンまたはコニカミノルタジャパンの営業担当者と連絡を取っていただく際は、ジャグラ会員であることをご説明ください。地域によってツールの認知度が異なりますのでご注意ください。また、地元商社さん等を通じて導入を検討したい場合は、恐れ入りますが一度本部事務局にご相談ください。

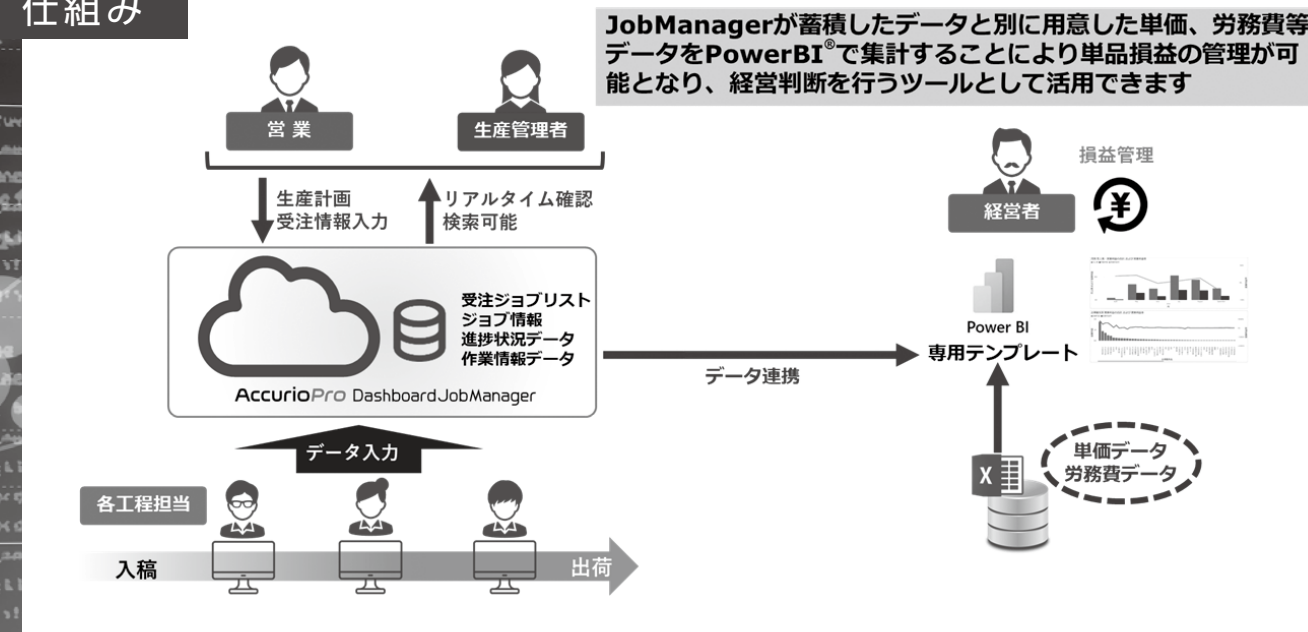
## ③各ツールのコンセプト等をご確認のうえ、ご相談ください

本ツールは、ジャグラコンパクト DX 事業の中で生まれました。メーカー、商社様に協力をいただいておりますが、そのコンセプトなどを理解いただかないままご相談を受けると齟齬が生じる恐れがあります。ご興味のあるツールにつきましては、「強いジャグラの教科書 2」や総会の事業報告、機関誌などの情報を再度ご確認ください。「導入すれば DX ができる」といったツールありきのご提案ではありませんので、ご注意ください。

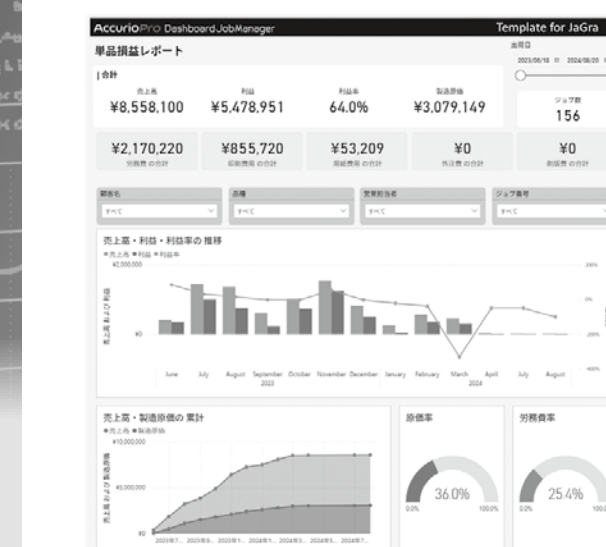
お問い合わせ ジャグラ本部事務局 03-3667-2271

# AP-JM×PowerBI連携システム

## 仕組み

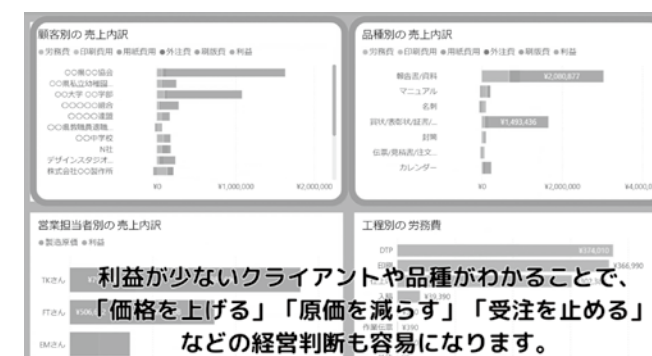


## 管理画面イメージ



AccurioPro Dashboard JobManagerに蓄積したデータをMicrosoft® PowerBI®で集計し、単品損益管理を行うための専用テンプレートをジャグラ会員限定で提供します。

期間を指定した全売上高や製造原価、労務費等の合計数値をはじめ、月毎の推移が視覚的に確認できます



| サービス名                                  | 直販標準価格(税抜き)   | Jagra様特典                                | 備考   |
|----------------------------------------|---------------|-----------------------------------------|------|
| AccurioPro Dashbord Jobmanager 1年ライセンス | ¥255,500      | (単品損益管理用)<br><br>PowerBI<br>専用テンプレートご提供 | ※1※2 |
| AccurioPro Dashbord Jobmanager 2年ライセンス | ¥510,000      |                                         | ※2   |
| AccurioPro Dashbord Jobmanager 3年ライセンス | ¥765,000      |                                         | ※1※2 |
| AccurioPro Dashbord Jobmanager 4年ライセンス | ¥1,020,000    |                                         | ※2   |
| AccurioPro Dashbord Jobmanager 5年ライセンス | ¥1,275,000    |                                         | ※2   |
| (必須)年間保守料金                             | ¥42,000/年     |                                         | ※3   |
| (任意)導入時操作説明                            | ¥50,000/2.5時間 |                                         |      |
| (任意)オンサイト保守対応                          | ¥20,000~/2時間~ |                                         |      |



※1 1年、4年の両ライセンスにおきまして2025年度IT導入補助金の(通常枠)最大2/3~1/2の補助対象商品として登録しております。(他プラン申請中)  
※2 各プラン、30アカウント分を含みます。追加アカウントオプションもございますので別途お問合せください  
※3 ライセンス年数分必要となります  
お問合せ:左記資料ダウンロードQRよりフォームにてお願い致します

詳細、相談、導入検討は ▶▶▶



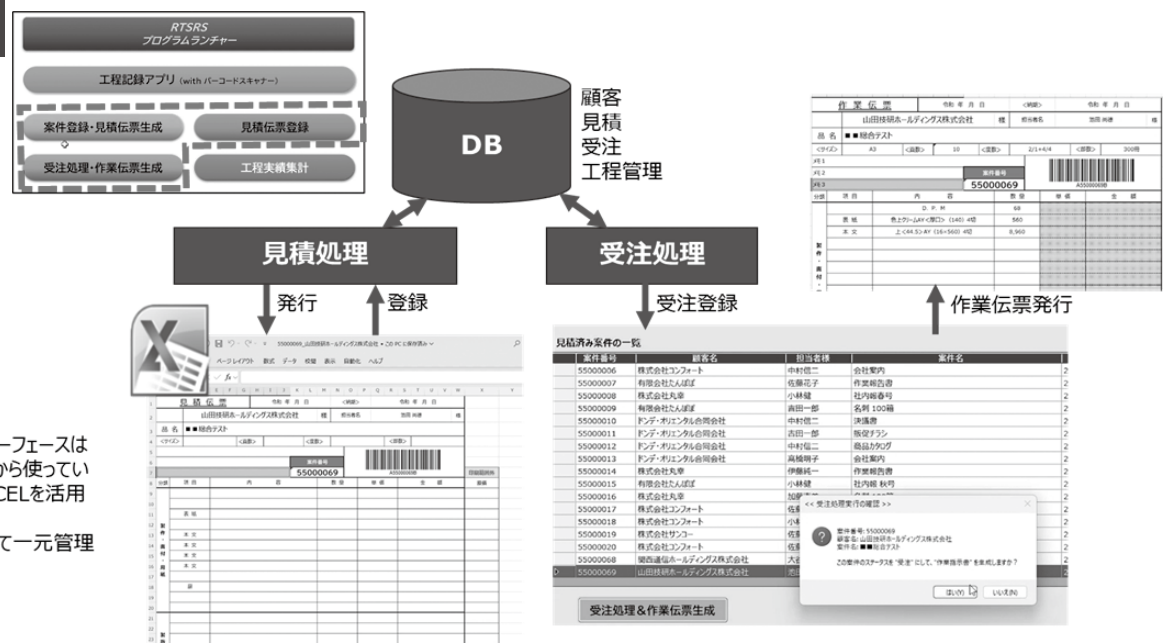
お問合せ ▶▶▶

ジャグラ本部事務局  
03-3667-2271

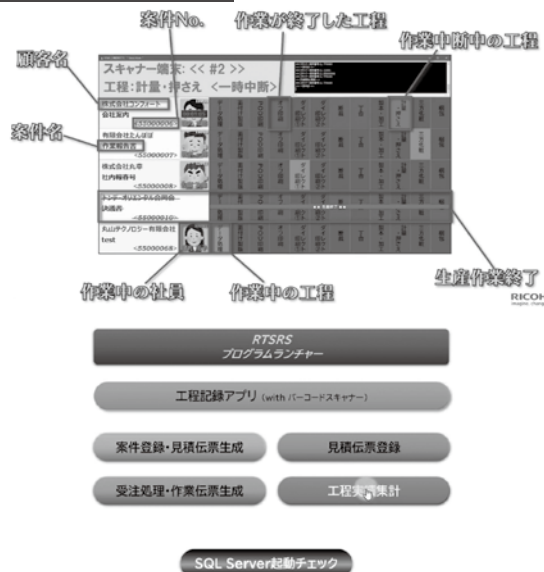


# バーコード工程記録システム

## ■ 仕組み



## ■ 管理画面イメージ



| No. | サービス名                     | 標準価格<br>(税抜)             | JaGra 会員様<br>優待価格(税抜)    | 備考    |
|-----|---------------------------|--------------------------|--------------------------|-------|
| 1   | リコー バーコード工程記録システム【ソフトウェア】 | 2,000,000 円～             | 700,000 円～               | ※1 ※3 |
| 2   | 導入支援サービス                  | 基本料金100,000 円<br>+SE 作業費 | 基本料金100,000 円<br>+SE 作業費 | ※2    |
| 3   | 年間保守                      | 300,000 円～／年             | 105,000 円～／年             | ※3    |

※1 コールドスタンバイライセンスを追加で1ライセンスご提供します。同時使用はできません。  
別途 Windows11 パソコンと Microsoft365、バーコードリーダーが必要になります。

パソコンディスプレイは FHD (1920×1080) 以上の解像度が必要です

※2 業務環境精査とシステム要件定義(SE 作業費)、導入設置作業および

お客様の工程管理の規模より SE 作業費が異なります

例) 工程数5工程、オペレータ7名、生産件数 20 件程度の場合、追加SE作業費 200,000 円

例) 工程数10工程、オペレータ10名、生産件数50件程度の場合、追加SE作業費 300,000 円

上記はスタンドアローンシステムです。MIS 連携や基幹システムとの連携は含まれておりません(個別お見積り)

また、特殊な作業工程の場合や複雑な作業工程の場合は、別途個別の開発費が必要になることがあります。

※3 工程数は15工程、対応オペレータ数は10名程度のシステム規模を想定しています。

これ以上の規模に関してはソフトウェアライセンス費が個別対応になります。

詳細、相談、導入検討は ▶▶▶



お問い合わせ ▶▶▶

ジャグラー本部事務局

**03-3667-2271**

広報委員会より

## 月刊グラフィックサービス 7月号の印刷不良のご報告

いつも機関誌ご覧いただきありがとうございます。

この度、月刊グラフィックサービス7月号の一部印刷物で不良がありましたので報告申し上げますとともに、お手元に不良品が届かれた会員様にお詫び申し上げます。

印刷不良の状況としましては、誌面の一部でカスレなどが起きておりました。

その経緯としましては印刷機のユニット内の筐体補強用のバーに伝って来た水と油の混合した液体がその下に位置している水着ローラー付近に落下し、版に影響した結果、今回の印刷不良を起こしました。

原因につきましては長年使用してきた機械部品の経年劣化や癖に応じたメンテナンスを正しく行っていない事による事故であると判断し、その対策としましてメンテナンスの見直しを徹底します。ただし、それによって不良品が発生しないことを十分に判断できるまで GS を含む全ての印刷物の目視検品を行います。

その結果によって必要な措置を随時取り、不良品の発生及びお届けを防ぎます。

またこれを機会に改めてジャグラの機関誌として恥じることのない印刷物の製造に努めます。



有限会社西村謄写堂 西村 啓

# JaGraグループ保険制度

災害保障特約付・災害割増特約付団体定期保険

## ◆ 割安な価格で充実の福利厚生

(例：30歳男性、1□327円/月)

◆ 70歳まで加入可能

## ◆ 死亡以外に事故による入院も保障

## ◆ 医師の診査不要、告知のみで申込

加へてお問い合わせは、[「G」](#)で事務終了です。

**☎ 03-3667-2271**





# 人財育成への支援を通じて



会長  
浅野 健  
(株)金羊社  
取締役会長



副会長  
作道 孝行  
作道印刷(株)  
代表取締役



副会長  
岡本 泰  
(株)クイックス  
代表取締役社長

業界の「未来」を創る。

日本プリンティングアカデミー後援会

## 会員募集中 50<sup>会員</sup>突破!

当後援会は、次世代を担う印刷関連産業人の「教育」と「成長」の支援を目的とした会です。私たちは、印刷業界に特化した教育機関である JPA への支援を通して、印刷業界で活躍できる次世代の人財育成をサポートしています。また、本会が会員同士の新たなビジネスネットワークの構築・ビジネスモデルの創出のきっかけになればとも考えております。

印刷業界の「未来」を創る＝人財育成の支援のために、ぜひ本会にご入会いただけますようお願い申し上げます。

| 年会費                            | 入会特典                                                                                                                   |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 法人会員 30,000 円<br>個人会員 10,000 円 | JPA 主催セミナーの割引<br>JPA が主催する社員向けのセミナーが、特別価格でご利用いただけます。<br>新入社員～管理職者向けまで企業の人財育成戦略に合わせた各種研修が受講できます。<br>※詳細についてはお問い合わせください。 |

入会方法

右の QR コードを読み取っていただき、入会申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。申込が確認でき次第、事務局よりご連絡いたします。

お問い合わせ

電話 03-3811-2734 後援会事務局 中村まで 平日 9:00 ～ 17:30

メール koenkai@jpa.ac.jp ※件名に「JPA 後援会」とご記入ください。



日本プリンティングアカデミーとは？

1978 年に、共同印刷株式会社をはじめとする業界関連企業からの支援で創立された、東京都認可の専門学校・Off-JT 教育機関です。創立より、「印刷業界の事業革新と社会的価値向上に貢献できる人財を育成する」を教育理念に掲げ、これまで約 1,000 名以上の卒業生を輩出しています。また、Off-JT 教育機関として年間 200 名を超える社員の研修も行っています。

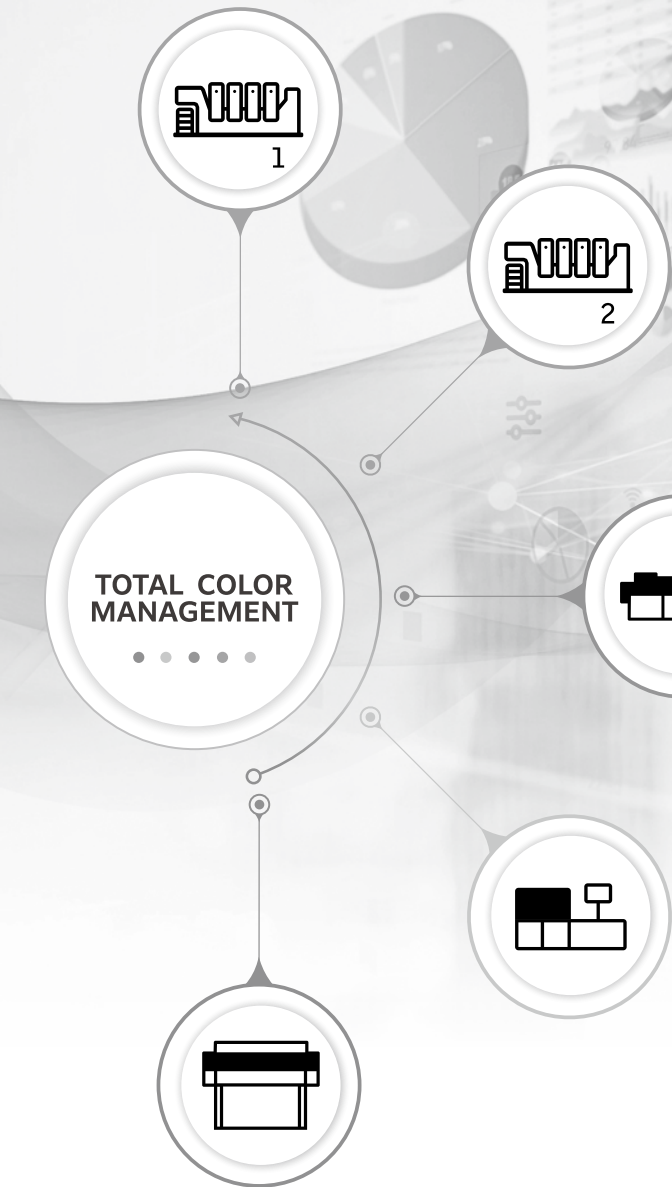
### 印刷業界の人財育成なら当校にお任せください

| 専門学校                                                                             | 企業研修                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 「今」の印刷業界で働くために必要な知識・技術を総合的に学べます。<br>— プリント・コンテンツ学科（1 年制）<br>— メディア・コンテンツ学科（2 年制） | 実機を使いながら学べる業界特化型研修で、企業が抱える人財育成における課題を解決します。<br>— ベーシック研修 — カスタマイズ研修<br>— 業務別講座 |



### 入学者 & 受講企業募集中

FUJIFILM  
Value from Innovation



### 「色」に関する課題を共に解決し、生産効率の最大化を目指すトータルソリューション。

総合カラーマネージメントソリューション

FFGS QC Navi

さまざまなジョブをつねに最適なコスト・時間で生産するには、工程全体の品質の統一と安定化が必要です。

すなわち、「オフセット印刷・デジタル印刷の色品質が統一され、安定した状態」。

この理想的な生産環境の実現に向け、富士フイルムは、長年にわたる印刷診断活動で得たデータや、独自の知見・ノウハウを活かし、お客さまの生産設備に合わせた課題解決から、色品質の維持管理まで、ワンストップでサポートいたします。

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社





# SHOWA

## ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の＜昭和謄写堂＞として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。  
創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

### 21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション＆リサーチ

## SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

**SHOWA会事務局** TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

ショーワ

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141 (代) FAX 03-3263-6149

## Horizon Change the focus

### Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

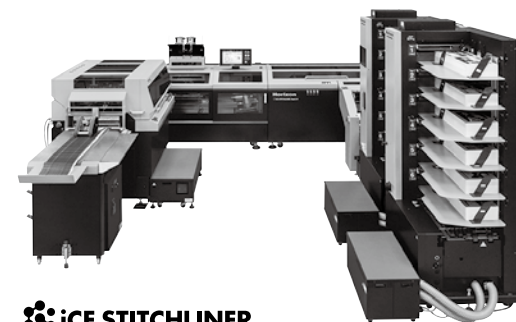
iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。  
ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。  
さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム

**iCE STITCHLINER Mark IV**

#### 自動化と製本品質の向上を追求

多品種少量生産に対応するために、全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮しました。筋入れ機構や突き揃え機構、折り部、針金の長さ調整、断裁前の位置調整など、各工程における高精度な調整と加工技術で高品質な製本を実現します。



**iCE STITCHLINER**

無線綴じ機

**iCE BINDER BQ-300**

#### 使いやすく進化した無線綴じ製本機

新世代15インチパネル HorizonXUI(ホリゾンクロスユーアイ)初搭載。製本のノウハウと自動化技術を融合し、オペレーターの経験や能力に頼ることなく簡単に製本作業を行うことができます。



**iCE BINDER**

紙折機

**iCE FOLDER AFV-566FKT / AFV-564FKT**

#### 生産性と折り品質が向上

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストッパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



**iCE FOLDER**

三方断裁機

**iCE TRIMMER HT-300**

#### 高生産性と自動化を追求

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高300サイクル/時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



**iCE TRIMMER**

[fb.me/Horizon.sns](https://fb.me/Horizon.sns)

ホリゾン・ジャパン株式会社 [www.horizon.co.jp](http://www.horizon.co.jp)

|            |           |                    |           |                     |                  |
|------------|-----------|--------------------|-----------|---------------------|------------------|
| 本社         | 〒101-0031 | 東京都千代田区東神田2-4-5    | 東神田堀商ビル5F | TEL.03-3863-5361(代) | FAX.03-3863-5360 |
| 東京支社       | 〒132-8562 | 東京都江戸川区松江5丁目10-9   |           | TEL.03-3652-7631(代) | FAX.03-3652-8083 |
| 京都支社       | 〒601-8206 | 京都府京都市南区久世大藪町510   |           | TEL.075-933-3060(代) | FAX.075-933-4025 |
| 福岡営業所      | 〒813-0034 | 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 |           | TEL.092-626-8111(代) | FAX.092-626-8112 |
| 仙台サービスセンター | 〒984-0002 | 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 |           | TEL.022-782-2821(代) | FAX.022-782-3068 |



# 字 在 由

文字とつながる。  
世界がひろがる。



Morisawa Fonts

デスクトップフォント

8書体まで利用可能 **Select8**    24書体まで利用可能 **Select24**    上限なく書体を選択可能 **スタンダードプラン**

Webフォント

サイト規模やプロジェクト数などに合わせて選べるプラン  
**Webフォント / Webフォント Lite**



[morisawafonts.com](http://morisawafonts.com)

## いろいろなコト は モトヤにご相談ください!!



琴音 愛

皆様と共に歩み続けるモトヤは、  
皆様のお困りごとを解決する  
「コトウリ」のご提案を続けます。

※詳しくは…



## そして、 SDGsのゴールの実現に 協力していきます。



— 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」への取り組み —

印刷現場の環境改善を考える



環境対応資材

ECO no MISTは、  
お客様と共に「環境」と「価値」を考える  
モトヤの資材ブランド。  
消耗品による環境改善を実現します。

※詳しくは…



※詳しくは…



多くの人へ情報やイメージを伝えていく  
美しく、効果的に。  
社会への負荷も可能な限り抑制していく  
サインシステムの枠を超えた、ルーファス。

人に、社会に、ルーファス



内照式ファブリックサイン

印刷業界の人材採用をお考えの企業様

◇社員紹介 ◇紹介予定派遣 ◇人材派遣 ◇業務委託などのご相談は…

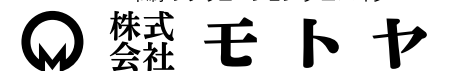
モトヤ **キャリアエージェント部** へ

大阪 ☎(06)6358-9124 / 東京 ☎(03)3523-8719

人材派遣業 派 27-030254 / 人材紹介業 27-コ-030174



印刷のソリューションプロバイダー



大阪 〒530-0038 大阪市北区紅梅町 2-8 ☎(06)6358-9131(代)  
東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711(代)  
横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡



# TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月～金) 9:00～17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic

http://www.lithmatic.net



## 雑学コラム 野口聡の ③③

### 47 都道府県のお話 (その 31 : 栃木県)

ジャグラ会報をご覧の皆様、こん〇〇は。ジャグラ東京・東  
グラ文京支部のアクティブ・野口です。

さて、今回取り上げるのは北関東最後の一角、栃木県です。  
私にとって栃木県は結構ご縁がありまして、特に 30 代前半  
はクイズのサークルに参加するために毎月小山市に行ってまし  
た。その後も色々ご縁があり、宇都宮で行われたジャグラ文化  
典では余興のかき氷の早食い私が優勝するというおまけも付  
いて。

そんな栃木県の話です。宜しくお願いします。で、今回のテー  
マは栃木の飲食に関することをテーマにしようと思います。

とはいえ今更餃子やイチゴのことを書いても何ですので、そ  
れ以外の話で 2 つほど。

まずはかんぴょうのお話。栃木の食＝何？と聞かれて今の大概  
の方は宇都宮餃子って言うかと思いますが、一昔前だと「イ  
チゴ」か「かんぴょう」と答える方もいらっやったのではない  
かと思います。それもそのはずで、かんぴょうの全国生産量  
の実に 98% が栃木県産です。そんな栃木のかんぴょう、栽培  
が始まったのが 1712 年のこと。こういう類の話にしては珍  
しくははっきりしていますが、それには理由があって、1712 年に  
壬生藩 (今の下野市付近) の藩主になられた鳥居公という方が

ユウガオの種を持ち込んで栽培を奨励した記録があるというこ  
とで。そうしたら土壌との相性が良かったのか見事に成功し、  
この地にかんぴょう生産の文化・産業が花開いたって話の様  
です。そんなかんぴょうの生産者・生産量とも現在減少傾向にあ  
るようで危機感を感じた栃木県下野市 (壬生町のお隣さんで県  
の生産量の 70% 弱を誇る一大産地) では、令和 2 年にかんぴ  
ょう条例というものを採択し、かんぴょうの普及に励んでいるの  
だそう。この取り組みが続きますように。

かんぴょうでページを割いてしまったので次は軽く宇都宮の  
カクテルのお話でも。こちらの方は知人ぞ、から最近では皆さ  
んが知るようになってきた感じがありますね。こちらは 1974  
年に宇都宮でオープンした「パイプのけむり」というお店がす  
べての始まりで、その後「全国バーテンダー技能大会」で 4 年  
連続で宇都宮からチャンピオンを出したことがきっかけにな  
り、宇都宮にバーテンダーが集まるようになったのだそう。

興味を持たれた方は「宇都宮カクテル倶楽部」という団体  
があり、そちらが主催する「宇都宮パーフェス」というイベン  
トが年 2 回のペースで開催されてるので、行ってみたいかがで  
しょうか。「カクテルの種類が多くて」という方は古谷正敏先  
生の「Bar レモンハート」という漫画を読むことをお勧めしま  
す (笑)

栃木県のソウルフード、しもつかれのことも書こうかと思っ  
たけど、まあそれはいつの日にか。

つらつら書いてきたコラムもこの辺りで。今月もお付き合い  
頂きありがとうございました、では今月の問題です。

問題：現時点、所有する自治体全てに鉄道駅が存在する日本で  
唯一の都道府県はどこでしょう？

(正解は 29 ページ)

## アプリって割と簡単に作れるのです!



### 社内報アプリを 導入する企業続々!

近年、社内報をアプリで配信する企業増加中!  
経営層からのメッセージや最新ニュース  
などをリアルタイムで共有。  
コメント機能やアンケート機能など、  
デジタルが繋ぐ、広がるキズナ。

情報共有の  
迅速化

うちの社内報  
ちょっと覗いて  
みてください↓



データ分析による  
効果測定

閲覧率・  
読了率の向上  
&  
エンゲージメント  
UP

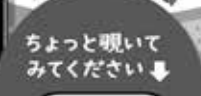
待望の  
新入社員  
& 後輩さん



### 地域活性化を促進 デジタルスタンプラリー!

手軽に参加! 観光地や商業施設で、地域活  
性化や集客促進に! スマホがあれば、いつ  
でもどこでも簡単に参加できます。参加者数や  
達成率などの効果測定もタイムリーに OK!

ちょっと覗いて  
みてください↓



ついに  
先輩さん

研美社広報  
小門カトモシ

オリジナルアプリ作成は  
研美社にお任せを!

株式会社 研美社

(東京営業所) 東京都中央区八丁堀 2-20-9 八丁堀 FRONT 1F

(大阪本社) 大阪市都島区片町 1-5-13 大手前センチュリービル B1F/5F

03-6228-3900

06-6351-1766



# 第 61 年度・第 2 回理事会 議事録

【1】日時 2025 年 7 月 11 日（金） 15：00～17：30

【2】議事までの経過

ジャグラ会館 8 階会議室と Web を併用して第 61 年度第 2 回理事会を開催した。15 時 00 分に開会し、17 時 30 分に閉会した。

【3】議事の経過

【第一号議案 役員の派遣・スケジュールに関する件】（承認事項）  
【提案内容】

役員の派遣・スケジュールを下記（巻末参照）のとおり決定したい。

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、資料の行事出席者の記載に漏れ・誤りがあり、以下の追加修正が加えられた。

その他、議場に質問・意見を諮ったところ、発言はなく満場一致で承認した。

【訂正】

- 7 月 31 日 栃木県支部総会：岡本会長が出席
- 9 月 1 日 自費出版文化賞最終選考会：岡本会長が出席
- 9 月 3～4 日 北海道機材展「HOPE2025」：岡本会長・田中専務、笠原事務局員が出席
- 9 月 5 日 SPACE-21 正文舎見学会：出席者から岡本会長を削除

【追加】

- 8 月 21 日 東海地協 DX 研修会
- 11 月 1 日 愛知県支部 70 周年記念式典  
会場：「アイリス愛知」を追記

【第二号議案 事業と役割分担に関する件】（承認事項）  
【提案内容】

第 60 年度事業報告について、別紙（理事会資料）のとおり提案する。

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、以下の追加修正について指摘があった。

【追加】

- 会員拡大委員会：作本卓也氏（兵庫）
- 会員拡大委員会：露木貴弘氏（監事）

【削除】

- SPACE-21：高光正義氏（熊本）

【第三号議案 全国協議会テーマに関する件】（承認事項）  
【提案内容】

11 月 7 日（金）～8 日（土）に開催する全国協議会のテーマについて協議したい。テーマの一例として、正副会長会議の案を別紙（理事会資料）のとおり提案する。

なお、昨年度の全国協議会では、サステイナブル委員会による 2 社の事例発表とグループディスカッションを行った。

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、全国協議会を下記内容で進めることとなった。

- テーマ 1：会員拡大施策について

①会員拡大事例発表

2022～2024 年に 2 回以上の会員純増を達成した支部による成功事例の紹介と、各支部が自らの拡大施策を検討・発表

②会員拡大の営業ツール説明

DX 委員会のアプリを会員拡大の営業ツールとして活用する方法を説明

③グループディスカッション

①と②の内容をふまえ、地協ごとに分かれてグループディスカッションを行い、発表する

- テーマ 2：昨年度実施したサステイナブル委員会による 2 社事例発表の経過報告

- その他：生産性向上委員会・MIS 研究委員会の事例発表を実施

《主な意見・質問》

- 岡本泰会長

➢「会員拡大施策の検討」をテーマに、2022 年～2024 年で 2 回以上の会員増を達成した支部が事例報告してはどうか

➢支部ごとの温度差や現状をふまえた支援方法を議論しつつ、各支部が具体的な拡大施策を検討し、目標設定と共有を行う場にしたい

➢DX 委員会のアプリケーションを会員拡大の営業ツールとして紹介する時間を設けたい

➢印刷業界に入るか迷っている若者の討論会開催や、生の声を記事化することも今後検討していきたい

- 田中専務理事

➢生産性向上委員会と MIS 研究委員会からの要望により、事例発表の時間を設けたい

- 齋藤秀勝理事

➢新入会員に入会動機を聞いてみてはどうか

- 渡辺辰美理事

➢グループディスカッションを行う際は、地域をシャッフルした方がいいのではないかと

- 伊東邦彦理事

➢会員拡大は地域ごとに状況が異なるため、地協ごとに分かれてディスカッションを行う必要がある

【第四号議案 日印産連表彰に関する件】（承認事項）  
【提案内容】

9 月 11 日（木）に開催する「9 月印刷の月」にて（一社）日本印刷産業連合会が表彰を行う。ジャグラから次の方を推薦したい。

①印刷功労賞（1 名）

【候補者】

- 尾形文貴氏（千葉）

2008 年から現在まで理事を務める。その間、「経営基盤確立委員会」の委員としてインターネット放送事業「ジャグラ BB」を中心とした教育事業の運営に尽力。「環境対策委員会」「CSR 委員会」等の委員および委員長を務め、通算 10 年間にわたり、印刷会社の環境対応の啓蒙に尽力。2012 年より 2015 年まで「個人情報保護委員会」の委員に就任し、プライバシーマーク制度の普及および機関誌での情報提供に尽力した。2017 年印刷振興賞受賞。

②印刷振興賞（2 名）

【候補者】

- 渡辺辰美氏（北海道）

2018 年から現在まで 7 年間、理事を務める。また、2018 年から現在まで 7 年間地協会長、2014 年より現在まで 11 年間支部長を務め、地協支部活動に尽力している。

- 本村豪経氏（福岡）

2017 年から現在まで 8 年間、理事を務める。2018 年から 2022 年まで SPACE-21 代表幹事に就任。2019 年から 2021 年までジャグラ BB 部会委員就任、2022 年より広報委員会委員長に就任し、ジャグラ BB、機関誌、広報アプリ等、ジャグラの情報発信の中核を担っている。

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、発言はなく満場一致で承認した。

【第五号議案 新入会員承認に関する件】（承認事項）  
【提案内容】

5 月 1 日から 6 月 30 日までの下記新入会員について、承認いただきたい。

| 入会日      | 支部     | 会社名         | 経歴 | 業務内容                                                          |
|----------|--------|-------------|----|---------------------------------------------------------------|
| 5 月 9 日  | 東京・千代田 | (有)イズズ写真製版  | 48 | 出版物のデータ編集、デジタルコンテンツ制作等                                        |
| 5 月 10 日 | 東京・三多摩 | (株)フジコデザイン  | 1  | グラフィックデザイン、パッケージデザイン、販促物、動画制作等                                |
| 5 月 21 日 | 神奈川    | (株)シュービ     | 8  | 印刷通販、デザイン制作等                                                  |
| 5 月 27 日 | 東京・文京  | ブランドデザイン(株) | 1  | 動画、アニメーション制作                                                  |
| 5 月 30 日 | 東京・千代田 | OYC (株)     | 7  | クラウドサービス提供 (名刺発注システム)、印刷物の卸、企画、作成、開発及び販売、マーケティング、WEB サイトデザイン等 |
| 6 月 2 日  | 東京・三多摩 | 美光印刷(株)     | 21 | 広告・宣伝・企画、印刷・加工                                                |
| 6 月 5 日  | 大阪     | (有)立花製本     | 14 | 製本、各種加工                                                       |
| 6 月 11 日 | 愛知     | (有)日東印刷所    | 3  | 特色印刷、一般印刷、環境対応印刷、抗菌印刷等                                        |

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、発言はなく満場一致で承認した。

【第六号議案 その他に関する件】

1. 大阪大会助成金について

大阪大会に対する本部助成金の金額について、会場費が高騰している現状をふまえ、150 万円から 50 万円増額し、200 万円とすることが承認された。

《主な意見・質問》

- 渡辺辰美理事：総会式典を公民館で実施することで費用を抑えられるか。また、懇親会が年々派手になっている気がするが、簡素化することはできないか。

- 神山明彦副会長：以前名古屋大会で公民館を利用したが、結果的にコストダウンできなかった。

- 岡本泰会長：協賛広告の金額が大会ごとに異なるが、メーカーサイドからは金額を固定化してもらいたいと言われている。

- 田中専務理事：協賛広告金額に関する指針を大阪大会実行委員会に引き継ぐこととしたい。

- 谷川聡理事：総会文化典の開催は最重要事項のため、必要に応じて本部から経費を支出すべきである。

2. 印刷屋さんのお仕事展

田中専務理事より、2025 年 7 月 27 日（日）・28 日（月）に開催する「印刷屋さんのお仕事展」について、イベントに使用する残紙を提供していただきたい旨、協力の呼びかけがあった。

3. 会員拡大委員会について

会員拡大委員会設置について、松下忠理事および岡本泰会長より下記説明があった。

- 松下 忠 理事：本日の理事会別紙資料として会員拡大委員会の趣意書を配布している。趣意書に沿って活動していくため、確認のうえ、内容を理解していただきたい。

- 岡本 泰 会長：大阪大会総会以降は、地協会長が会員拡大委員会の委員となり、正副会長から委員長を選出する予定。

《主な意見・質問》

- 露木貴弘監事：来期から地協会長が委員となるにあたり、今期はその活動基盤を築くことが委員の使命と認識しているが、今期の委員に地協会長がほとんど入っていない。地協会長がいない中で委員会が地協の会員拡大のことを決めていいのか。

- 岡本泰会長：委員が地協会長にコンタクトを取って進めていくが、今期はあくまで会員拡大の仕組みを考えるに止まるのではないかと考えている。また、会員拡大委員会については人数上限を設けないので、希望があれば地協会長自ら会員拡大委員会の委員に加わっていただきたい。

4. ジャグラテスト第 4 期について

笹岡誠理事より、ジャグラテスト第 4 期について下記 PR があった。

- 6 月 2 日より、ジャグラテスト第 4 期の募集を開始した。ぜひ多くの方に申し込んでいただきたい。

- 7 月 16 日と 23 日にジャグラテスト課題制作ポイント解説セミナーをオンラインで開催するため、ぜひ申し込みを検討していただきたい。

5. HOPE 出展について

田中専務理事より、2025 年 9 月 3 日・4 日に札幌で開催される北海道機材展「HOPE 2025」に出展する旨、説明があった。ジャグラは無償で 1 コマ分出展する予定。

監事総括：露木監事

非常にいい議論ができた。大変おつかれさまでした。



# 業界の動き

## ジャグラ

### 支部長一年目を振り返る 新体制で事業に邁進 宮城県支部

ジャグラ宮城県支部（佐藤博人支部長）は7月3日、仙台市の電力ビル会議室で令和7年度定時総会を開催しました。佐藤支部長は支部長就任の一年を振り返りつつ、次年度の事業に向けた意気込みを語りました。

総会終了後は会場を同ビル地下のバー＆レストラン「LA PAIX」に移り、関連業者も交えて懇親会を行いました。地元食材を使ったフレンチを楽しみながら交流し、途中、福引き大会で大いに盛り上がりました。

宮城県支部の  
佐藤支部長



## ジャグラ

### 60周年を盛大に祝す 新支部長に櫻井氏 神奈川県支部

ジャグラ神奈川県支部（露木貴弘支部長）は7月25日、横浜市のロイヤルホールヨコハマで、第60回通常総会を開催し、任期満了に伴う役員改選で新役員を承認し、有限会社さくらプロセスの櫻井薫氏が新支部長に就任しました。新年度は引き続き、SDGsの活動を推進するとともに、仲間意識を高め、会員増強を目指すとしています。

総会終了後は、60周年記念祝賀会を開催。全国から関東、東京、近畿の会員もお祝いに駆け付け、90名近くの参加で60年を祝いました。祝賀会では、60周年記念祝賀会実行委員会の露木実行委員長の挨拶に続き、同支部の金子相談役に挨拶し、大阪府グラフィックサービス協同組合の小幡理事長、岡副理事長が祝辞と共に、来年のジャグラ文化典大阪大会をPRしました。

ジャグラの岡本会長の祝辞と乾杯の発声で歓談に入り、途中変面&中国雑技ショーのアトラクションが披露されたほか、

1964年に制作、発表された『軽印刷の歌』を参加者と合唱しました。宴もたけなわで同祝賀会の岡澤誠運営委員長が中締めしました。



神奈川県支部の櫻井新支部長



神奈川県支部の露木直前支部長



金子相談役



## ジャグラ

### 高橋支部長が続投 副支部長2名体制に 栃木県支部

ジャグラ栃木県支部（高橋亮太支部長）は7月31日、宇都宮市のホテル・ザ・セントレ宇都宮で第66回総会を開催し、原案通り議案を承認し、任期満了に伴う役員改選で高橋支部長の続投が承認されました。

高橋支部長を補佐するため、新年度から副支部長2名体制とし、坂本明史氏（㈱新光社）、村田敏光氏（㈱村田印刷）が就任しました。



栃木県支部の高橋支部長

## 業界の動き

### ジャグラ

#### ジャグラテスト課題制作のポイントを 10月3日まで実務で役立つ有料アーカイブも配信 コンテスト委員会

ジャグラコンテスト委員会はジャグラテスト第4期の受験者募集開始に併せて、7月16日にAdobe InDesign 課題制作ポイント解説、7月23日にAdobe Illustrator 課題制作ポイント解説のセミナーを開催しました。

セミナーでは、第3期で出題された課題を題材に、出題者が課題の要点となる機能やおすすめの設定例などを紹介。受験希望者だけでなく、実務でInDesignとIllustratorを扱うDTPオペレーターの学びになる内容でした。

当日参加できなかった方のために10月3日（金）まで、本セミナーのアーカイブ配信を有料（2,000円／視聴＋資料）で行っています。視聴ご希望の方は、ジャグラホームページからジャグラテスト専用ページに入ってください、下記Webフォームに申請ください。

<https://jagra-contest.com/jagratest/2025/07/24/1641/>



### ジャグラ

#### 著作権管理のためのご案内を制作 顧客向けの二次利用注意や契約のひな型

先般、2022年の愛知大会のPRで使用した画像の一部が著作権侵害となり、著作権者より訴えがあったことは記憶に新しいと思います。本事案に似たようなトラブルで外資系のライセンス管理専門会社を経由して、顧客が示談金を請求された事案が報告されております。今回のケースは、顧客に納品した印刷物の画像データを顧客が自社HPに転用したことから起きてしまいました。印刷物利用の許諾のみだったため、Web掲載について顧客側が示談金を支払ったということです。こうした事案はジャグラ会員で往々にして起こりやすいものと思います。

SNSやネット環境の普及浸透により、画像に関する著作権管理はより慎重を期す必要が出ています。

### 関連業者

#### 印刷・情報用紙を値上げ 10月1日出荷分より 王子製紙

王子製紙(株)は8月1日、同社が扱う印刷・情報用紙の価格改定を発表しました。

対象品種は、印刷用紙全般（中下級紙、上質紙、塗工紙、微塗工紙、他）と情報用紙全般（PPC用紙、フォーム用紙、他）。改定幅は、印刷用紙、情報用紙共に現行価格に＋10%。10月1日出荷分より適用されます。

### 行政

#### 21回目のものづくり補助金公募開始 申込締切は10月24日

全国中小企業団体中央会はこのほど、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（以下、ものづくり補助金）の第21回公募を開始しました。

「ものづくり補助金」は、中小企業等が行う、生産性向上に資する革新的な新製品・新サービス開発や海外需要開拓を行う事業のために必要な設備投資等の取組を支援するものです。

詳細スケジュールや申請のポイントなどは、ものづくり補助金総合サイト（<https://portal.monodukuri-hojo.jp/index.html>）にてご確認ください。

スケジュールは以下の通りです。

公 募 開 始：2025年7月25日（金）  
電子申請受付：2025年10月3日（金）17:00～  
申 請 締 切：2025年10月24日（金）17:00  
採 択 公 表：2026年1月下旬頃予定

報告を受けて理事会では、顧客サービスの点でもクライアントが予期せぬトラブルに見舞われないために、受注時にクライアントと著作物の取り扱いに関する注意事項と著作物の契約に関するフォーマットを提供していくこととしました。

本フォーマットはあくまでもひな型として提供するものであり、法的根拠等をジャグラが保証するものではありませんのでご注意ください。本フォーマット使用によるトラブル等につきましては一切責任を負いかねます。利用にあたっては顧問弁護士等にもご確認ください。また、会員外への提供はお控えください。



印刷製造に関する  
著作権の取り扱い  
に関する契約書



納品印刷物並びに  
印刷データ利用時  
のご注意



## 「今宵のサステイナ酒場」

「店主のつぶやき」



杉本店长

夜のとばりが静かに降りる頃、酒場の灯りがぼつりぼつりと灯り始める。扉の向こうには、古びた木のカウンターと、時の流れに身を委ねるような柔らかな音楽が響き渡っている。ここはただの酒場ではないようだ——サステイナブル（持続可能）な未来を願う者たちが、グラスを傾けながら思索を巡らせる場所なのだという。

## ほんとうに、地域メディアで何かが変わる？

今宵の肴（ゲスト）：

株式会社ウイング 代表取締役 松下 忠 氏

店主：

「ようし、今夜のサステイナ酒場も最高の盛り上がりだな。外はうだるような暑さだけど、ここには熱い想いを持ったお客さんたちが集まってくれてる。おっと、今夜のスペシャルゲスト、サステイナブル委員会の松下委員長。もうすでにグラスから情熱があふれ出しちゃってるじゃないか。その熱い想いが酒に全部吸い取られちゃう前に、さっそく語ってもらおうか！」

松下さん：

「実はさあ、社長を継いだのは11年前で、前社長が大病を患い余命宣告をうけてのことだったんだよ。その時の会社は、創業40年以上の印刷会社だったけど、これといった特徴もなくて、借金もけっこうあって、正直かなりヤバい状況だったんだよな」

常連客A：「ええっ、そんな大変な状況だったなんて……」

松下さん：

「でも、唯一光るものがあつたんだ。それが、前社長の肝いりでボランティアで発行していた地域の情報誌『ほうぼわかやま』なんだよ。社員が企画から取材、撮影、編集に携わることで社内の活性化を図る狙いと、和歌山の魅力を掘り起こして、地元の人に和歌山をもっと好きになってもらおうって目的でやってるんだ」

常連客B：「ボランティアで情報誌なんて、すごい熱意だねえ」

松下さん：

「最初は採算が取れないから、やめるべきか悩んだこともあった。でも、この活動を通じて大学教授とか県職員、学生とかいろんな人と繋がれて、それが間接的に仕事にも繋がってるんだ。だから僕は、この『ほうぼわかやま』を会社の中心事業にしようって決めたんだよ」

常連客A：「なるほど！ ピンチをチャンスに変えるってやつだね」

松下さん：

「『ほうぼわかやま』を続けたことで、会社のイメージもぐっと良くなってさ。和歌山の地域に貢献する会社として、みんなに知られるようになったんだ。リクルートの時なんかは、学生から『ほうぼわかやまの会社ですよね』って言われたりして、採用活動にもめちゃくちゃ役に立ってたぜ」

常連客B：「すごい！ 会社のブランドイメージって、そういうところから作られていくんだね」

松下さん：

「それで、この事業をきっかけに、さらに2つの自社メディアを発行することになったんだ。1つは、和歌山の高校3年生に配ってる就職応援本『COURSEわかやま』。県内の良い企業を紹介して、若者が県外に出て行かないようにって思いで発行したんだ。これは企業からの掲載料で安定した収益になってる」

常連客A：「へえー！ 若者の流出防止にも繋がるなんて、一石二鳥だね」

松下さん：

「もう1つは、和歌山市の中学・高校6学年に配ってるキャリア教育本『さくらノート』。これは職業体験とか学校の授業の教材に活用されていて、若い世代に働くことの面白さを伝えてるんだ。この2つの自社メディアはオリジナルで開発したビジネスモデルではないけど、長年の『ほうぼわかやま』の経験から取材、編集、撮影、発行後の反響調査まで全部自社の社員で取り組んでいるんだ」

常連客B：「印刷会社がメディアカンパニーになるってことか！」

松下さん：

「そうなんだよーこの事業のおかげで、研修会やセミナーの企画、採用ブランディング支援、動画制作、ウェブサイト制作とか、仕事の幅がめちゃくちゃ広がったんだ。特に採用ブランディングは、企業の理念を掘り下げて、求職者に響くメッセージを作ること、パンフレットを作る以上の価値を提供できてるんだ」

常連客A：「印刷物を作るだけじゃないだね」

松下さん：「自社メディアに関連する事業は、売上全体の約10%位だけど、自社メディアの粗利率は70〜80%とすごく高くしてさ。他の仕事よりも儲かる事業に育ったんだ。和歌山県内ではこんな事業やってる印刷会社は他にほとんどないから、うちの会社は『オンリーワン』の存在になれたんだよ」

常連客B：「唯一無二の存在って、かっこいいねえ」

松下さん：「ただ、新しい課題も出てきてさ。昔からの印刷業の社員と、異業種から転職してきた社員との間で、価値観とか評価の基準で摩擦が起きちゃってて。それぞれの得意分野を活かしたいんだけど、チームをまとめるのに今苦労してて、これが一番の悩みなんだよな」

常連客A：「なるほど、事業が変わると、人も変わっていくもんね」

松下さん：

「みんなと今日の話を通して、持続可能な経営ってなんだろう？ とか、印刷会社が広告・出版会社に変われるのか？ とか、自分たちと地域の未来を本当に変えられるのかってことを一緒に考えていきたいんだよな……正直、この悩み、今日の酒の肴にしたかったんだけど、グラス一つじゃ足りないくらいでさ。誰か、この『社員の化学反応』をサステイナブルにする秘策、知らない？」

.....

店主：

「いやー、本当に熱い話が飛び交ったな。単に儲けを追いかけただけじゃなくて、地域貢献という大義から事業機会を見つけて、それを会社の強みにしていった松下さんの姿勢、素晴らしいね。収益性の低いボランティア活動から会社の未来を切り開いていったのは、多くの経営者にとって参考になるんじゃないかな。印刷物を作る会社から、情報を創造し発信する『メディアカンパニー』へと見事に変貌を遂げたってことだな。さて、次はどんな話が聞けるか楽しみだ。またのご来店、お待ちしておりますよー」



※この記事は7月23日に開催したのZOOM飲み会をもとに店主が多少脚色したものです。



# 印刷屋さんのお仕事展3を無事終了

## 未来のグラフィックサービス業の担い手育成

ジャグラ作品展委員会が中心となって企画、運営している「印刷屋さんのお仕事展3」が7月27日（日）、28日（月）の2日間、今年も東京・晴海の晴海地域交流センター「はるみらい」の地域活動スタジオをおかりして開催されました。30度を超える猛暑が続く中、多くの親子連れが来場し、印刷にちなんだ様々な催しを楽しんでいました。

昨年からジャグラ神奈川支部の協力を得て併催していますガリ版体験教室は前回の反省を踏まえ、事前予約制でお願いしたところ、告知チラシの配布前に、はるみらいの公式ホームページに掲載されると2日間で満席となりました。その時点での申し込み人数を神奈川支部にお伝えしたところ、皆さん少々面喰らってしまったとのこと、失礼いたしました・・・。

しかし、ふたを開けて見れば皆さんベテランの職人のような出で立ちで、子どもたちにガリ版を教え、全ての参加

者を時間通りにこなしていました。

真剣な面持ちで鉄筆を握る子どもやハラハラと子を見守る親御さん、子どもよりも真剣になって作品作りに没頭する親御さんなど、様々な顔が見られる楽しいガリ版体験教室となりました。

メイン会場となる地域活動スタジオでは、今年も「SDGs 残紙で紙釣り」「手書きをその場で缶バッジ製作体験」「まるで CMYK カラーチャート！色にこだわれ FUNKY DRINK」を実施。新しい企画として「CMYK スタンプでポストカード」も用意しました。



作品展示コーナー



インクをのせるのも一生命

### ガリ版体験



親子でガリガリ



ガリ版体験教室を運営していただいた神奈川支部の皆様



刷った作品にクレヨンで色を付けてもらいました



開始前に缶バッジ製作を学ぶ



新企画「4色凸版スタンプ」を教える谷山さん



### 1F展示

ファンキードリンクの名バーテンダー高橋さん



残紙の紙釣り  
今回も好評



会場では来場者にゆっくりと色々な企画を楽しんでいただきました

紙釣り体験では今回、断裁前の A 全紙を寄付いただき、残紙の中に忍ばせました。一見 A サイズのただの紙ですが、思ったよりも重い紙に気付いた子どもが頑張って釣り上げて紙を開くとその大きさに驚いていました。

新企画のスタンプは、4つのゴム版を順番に押ししていくと一枚の可愛い熊のイラストポストカードが完成するといったもので、版というのがどのようなものか少し感じていただけたのではと思います。

また、完全予約制で開催していたガリ版体験教室ですが、当日も体験できないかというお声をいただき急ぎょ、1階でも1回2名限定でガリ版体験ブースを設置すると、次々と体験申し込みがあり、最後にはインクが無くなって終了

してしまいました。

3回目の開催トピックスとしましては、一つに作品を手にとって見る親御さんが増えたこと、もう一つに近所の方が「面白かった」という口コミを聞いて二日目に来場していただいたことです。

今回の来場者数は2日間で150名強と昨年よりも若干減少しましたが、タイミングや告知方法などを工夫してさらに次回、来場者を増やしていければと思います。

「印刷屋さんのお仕事展」は、ジャグラ作品展の素晴らしい作品の数々を一般の方に広く見て、触れてもらい中小グラフィックサービス業の存在を認知してもらうこと、そして子どもたちに夏の思い出の一つとして“印刷”を記憶にとどめてもらい、未来の印刷人を生み出す種まきの場として継続していければと考えております。

作品展委員会メンバーに限らず、趣旨賛同いただける方はご一報ください。企画メンバーと一緒に活動頂ければ幸いです。また、地方開催のご相談も受け付けております。地協、支部活性化の一助に是非ご活用ください。

改めまして、今回ご来場いただいた皆様、そしてお仕事展開催に際し、ご協力いただきました皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。



# ジャグラ緊急連絡網

地震・大規模水害など緊急事態が発生したときの手順

- ① 身の安全確保、緊急避難、二次被害防止、安否確認（社員・家族・来訪者）
- ② 本部より支部長へ被害状況確認の要請
- ③ 会員から被害状況の連絡 → 支部長へ
- ④ 支部長が担当支部の被害状況を集約
- ⑤ 支部長による状況報告 → 地協会長へ
- ⑥ 地協会長による状況報告 → 本部で集約

ジャグラ本部連絡先

**Tel 03-3667-2271 Fax 03-3661-9006**  
**E-mail jagra@jagra.or.jp**

- ◎状況を見ながら出来るだけ急いで連絡をするように心がけてください。支部長は日頃から支部会員とコンタクトを取り、携帯番号を把握しておきましょう。支部の緊急連絡網やLINEグループなどを整備しましょう。
- ◎お知らせいただく被害状況は、ジャグラ理事、地協会長、支部のみが共有するものです。第三者に漏らすようなことはありません。
- ◎本部が被災した場合は、別の支部（①近畿地協／②北海道支部・地協／③中国地協／④九州地協）の順で、会長指示のもと本部代行として災害対策本部を設置します。
- ◎災害用伝言ダイヤル（171）、災害用伝言板サービス（各社携帯メニューから）、災害用ブロードバンド伝言板（WEB171）なども活用してください。サービスにより、録音時間の制限や48時間で消去されるものがありますので複数の方法で対応するようにしてください。
- ◎万が一被災してしまった場合は、自治体ではボランティアなどの人的支援、救援物資輸送、災害復旧貸し付け、債務返済緩和等の措置が取られます。
- ◎メーカーでは被災した機械の無償修理や代替機の貸出しなどがあります。各自治体やメーカーにお問い合わせください。

※グラフィックサービス 2020年2月号掲載の緊急連絡網の再掲載です

## 事務局日誌と今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

### 8月の事務局日誌

- 1日 Pマーク現地審査（大阪）→今田
- 4日 広報委員会（Web会議）
- 5日 Pマーク審査会（本部）  
サステナブル委員会（Web会議）
- 6日 MIS研究委員会（Web会議）
- 8日 地域活性化委員会（Web会議）  
Pマーク現地審査（神奈川）→田中専務、今田  
ジャグラショートカット運営委員会（Web会議）
- 20日 Pマーク現地審査（群馬）→今田
- 21日 70周年記念誌編集委員会（Web会議）
- 22日 Pマーク現地審査（福島）→今田  
ジャグラショートカット委員会（Web会議）
- 25日 委員長会議（Web会議）
- 26日 業態進化委員会（Web会議）
- 27日 印刷会社のためAdobe Expressセミナー（Web）  
Pマーク現地審査（秋田）→今田
- 28日 正副会長会議（Web会議）  
Pマーク現地審査（福島）→今田
- 29日 70周年記念誌座談会（本部）

### 9月のスケジュール

- 1日 広報委員会（Web会議）  
自費出版文化賞最終選考会（東急REI）
- 2日 MIS研究委員会（Web会議）
- 3日 HOPE2025（北海道）→岡本会長、田中専務  
Pマーク現地審査（神奈川）
- 4日 HOPE2025（北海道）→田中専務、笠原  
Pマーク現地審査（千葉）→今田
- 5日 SPACE-21 幹事交流サミット、正文舎見学会（北海道）→田中専務、笠原
- 6日 ぼうさい国体2025（新潟）→齋藤理事、田中専務  
SPACE-21 幹事会（北海道）→笠原
- 7日 ぼうさい国体2025（新潟）→齋藤理事、田中専務
- 9日 生産性向上委員会（Web会議）
- 10日 会員拡大委員会（Web会議）
- 11日 理事会（本部）  
印刷の月式典（ニューオータニ）  
地域活性化委員会（Web会議）
- 17日 Pマーク審査会（本部）  
個人情報保護委員会（本部）
- 18日 Pマーク現地審査（兵庫）→田中専務、今田
- 19日 Pマーク現地審査（大阪）→田中専務、今田
- 24日 日印産連ステコミ→岡本会長、田中専務  
サステナ酒場（Webイベント）
- 26日 Pマーク現地審査（愛媛）→今田

### 10月のスケジュール

- 6日 サステナブル委員会（Web会議）
- 11日 関地協大会（松本）→岡本会長
- 24日 正副会長会議（本部）
- 25日 SPAE-21 全国協議会（土浦 ホテルマロウド筑波）→岡本会長、笠原
- 28日 会員拡大委員会（Web会議）
- 29日 70周年誌編集委員会（Web）

### 事・務・局・便・り

健康診断では脂肪肝と言われ、ジュースは体によくないと言われ、最近、自宅で炭酸水を作る器具を導入しました。冷えた水に強い炭酸を注入して飲むスタイルが気に入っていて、事務所にも水筒で持参しています。そのおかげで、ジュースを飲む回数がぐっと減りました。ソー○ス○リームのCMに出てくるパパのおなかが引き締まって娘に褒められるシーンがありますが、それを再現したいと思った今日この頃です。次回の健康診断で数値がどのように変わるかが楽しみです（今田）

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

**G S** No.886  
2025  
9

### 月刊『グラフィックサービス』886号

■発行日 令和7年9月10日（毎月1回）  
■発行人 岡本 泰  
■編集人 本村 豪経  
■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16  
電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006  
ウェブ <https://www.jagra.or.jp/>

 ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部宛メール [edit@jagra.or.jp](mailto:edit@jagra.or.jp)

◎企画：ジャグラ広報委員会

担当理事

神山 明彦 愛知・㈱カミヤマ / 副会長

委員長

本村 豪経 福岡・アイメディア㈱ / 理事  
委員

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 東海林正豊 | 秋田 / ㈱東海林印刷        |
| 谷山 和也 | 東京 / 菁文堂㈱          |
| 野口 聡  | 東京 / ㈱アクティブ        |
| 小澤孝一郎 | 山梨 / ㈱オズプリンティング    |
| 安達 睦男 | 大分 / ㈱舞鶴孔版         |
| 瀬尾 淳  | 広島 / ㈱広瀬印刷         |
| 三宮 健司 | 高知 / ㈱三宮印刷         |
| 佐藤 愛子 | 大分 / ㈱クリエイツ        |
| 西谷 毅  | 東京・文京 / 西谷印刷㈱      |
| 松谷 勝広 | 東京・文京 / ㈱松谷メールサービス |
| 笹井 靖夫 | 東京・文京 / 共立速記印刷㈱    |
| 田中 良平 | 専務理事               |

◎原稿・編集・校正

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 田中 良平 | 阿部奈津子 | 今田 豪  |
| 長野未奈美 | 古田 理子 | 笠原賢一郎 |

以上、ジャグラ事務局

◎渉外 田中 良平

◎広告 田中 良平

◎Web 阿部奈津子 古田 理子

◎動画 今田 豪

◎組版（㈱クリエイツ、大分県支部）

DTP = Adobe CC ほか

フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ ほか

 ※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版 / 印刷（㈱西村謄写堂（高知県支部））

RIP = FUJIFILM WORKFLOW xmf

CTP = Luxel T-6300（自現：富士フィルムXP-1310R）

刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F

印刷機 = RYOBI 924D

インキ = 東洋インキ

用紙 = 三菱ニューVマットA判 57.5kg

Copyright 2025 JaGra

禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です

原則、TMや®マークは省略しています

※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします

【雑学コラムお題の答え】富山県



# RMGT-CSPI

## ともに創る印刷の未来



RMGT-CSPIが  
SDGs達成をアシスト



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。  
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

